

# 主体的に学習に取り組む態度 学習評価

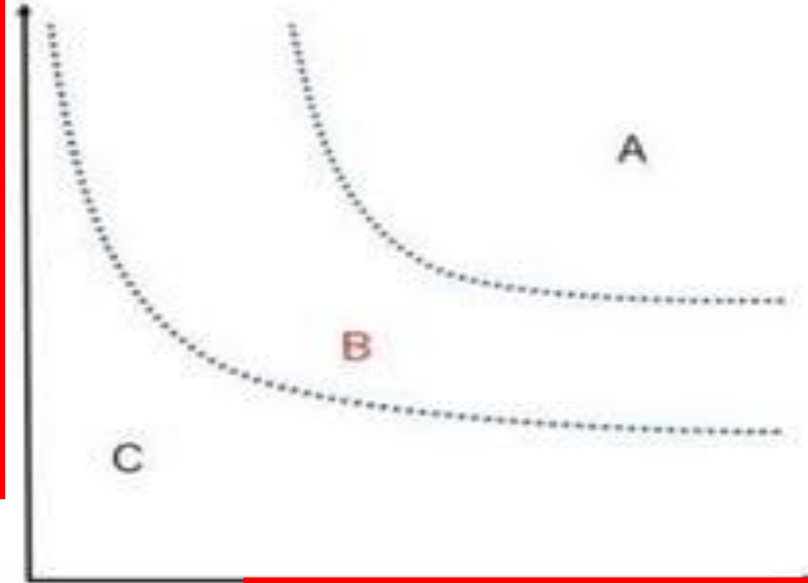
## 「主体的に学習に取り組む態度」の評価のイメージ

児童生徒の学習評価の在り方について（これまでの議論の整理について）において

○ 「主体的に学習に取り組む態度」の評価については、「①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとしている側面と、②①の粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている側面という二つの側面が求められる。」とされている。

○ これら①②の姿は実際の教科等の学びの中では別々ではなく相互に関わり合いながら立ち現れるものと考えられる。例えば、自らの学習を全く調整しようとせず粘り強く取組み続ける姿や、粘り強さが全くない中で自らの学習を調整する姿は一般的ではない。

②自らの学習を調整しようとする態度



①粘り強く学習に取り組む態度

- ①の側面・・・観察(座席表を観察シートへ)、議事録(シート)
- ②の側面・・・授業プリントを総合的に見取る(振り返り)